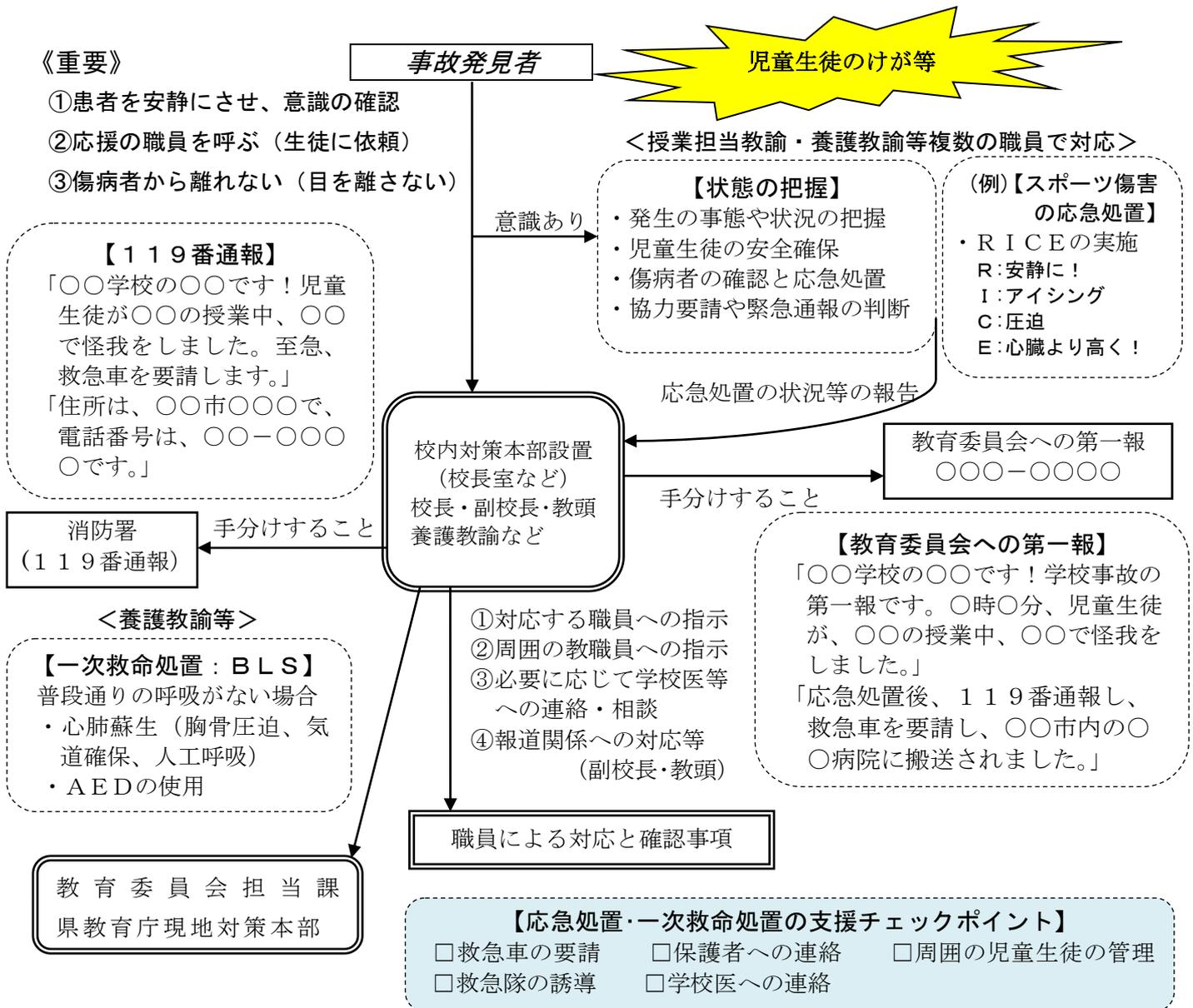


授業中の事故・危機管理マニュアル（例）

令和〇〇年 4月 〇〇立〇〇学校



＜手当の基本＞

- (1) 観察の基本・・・①周囲の状況観察 ②傷病者の観察 ③反応の確認
 - (2) 体位の基本・・・①傷病者の寝かせ方（原則→水平） ②意識がない場合は回復体位 ③気道確保 ④保温、加温
 - (3) 傷病者への接し方・・・①傷病者への力づけ ②安静 ③飲食物 ④感染防止
 - (4) 現場での留意点・・・①協力者 ②連絡・通報 ③傷病者の家族への連絡 ④搬送 ⑤記録
 - (5) 一次救命処置・・・①呼吸の確認（心停止の判断） ②胸骨圧迫（循環の整理） ③気道確保（BLS） ④人工呼吸 ⑤胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返す ⑥AED装着 ⑦心電図解析（電気ショックは必要か） ⑧必要有の時には電気ショック1回 ⑨胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返す
- （救急隊に引き継ぐまで、または普段通りの呼吸や目的にあるしぐさが認められるまで続ける。 ※＜手当の基本＞は、日本赤十字社「救急法基礎講習」から抜粋